

新潟みらい農業協同組合

【発行者】新潟農業普及指導センター
新津庁舎 0250-24-9624 津川分室 0254-92-0965

葉色淡いほ場は追加穂肥で 後期栄養を確保 出穂 25 日後まで飽水管理を徹底！

1 生育状況

コシヒカリの生育は、ほ場間差が大きく、草丈は「やや長」、茎数、葉数は「並」、葉色は「やや濃い」ほ場が多い。

品種		草丈 (cm)	茎数(本/m ²)	葉数(葉)	葉色(SPAD 値)
コシヒカリ (調査点数 10)	本年値	93	350	13.3	34.9
	指標比・差	103 %	94 %	+ 0.1	+ 1.9
新之助 (調査点数 5)	本年値	77	439	13.8	34.2
	指標比・差	103 %	91 %	+ 0.2	+ 0.2

2 今後の天気（8月1日～8月31日：新潟地方气象台7月30日発表）

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1ヶ月の気温は高い
気温：高い 50% 降水量：ほぼ平年並 日照時間：ほぼ平年並

3 今後の栽培管理

(1) コシヒカリの穂肥対応

分施肥体系と基肥一発施肥体系いずれの場合も、出穂期の葉色が SPAD 値 33 を下回ると予想される場合、出穂期 3 日前までに窒素成分で 1 kg/10a をめやすに追肥する。

ただし、有機質入り肥料を使用する場合は早めに施用する。

(2) 水管理

ア 出穂期 25 日後まで「飽水管理」を徹底する。

イ フェーン緊急情報に注意し、強風やフェーンが予想される場合はあらかじめ湛水し、障害の発生防止に努める。

ウ フェーン通過後は、通水状況を考慮し、可能な範囲で水の入れ替えをする。

(3) 病害虫防除

ア 葉いもちの発生が各地で確認されている。葉いもちの発生量が多いほ場は、粉・液剤による防除を実施する。

イ 斑点米カメムシ類の発生が多いので、雑草が結実しない間隔で農道や畦畔の草刈りを行うとともに、適期を逃さずに薬剤防除を実施する。

～梅雨明け後、厳しい暑さが見込まれます。熱中症対策は万全にしましょう！～

メルマガ登録募集中！〈申込先〉 ngt112130@pref.niigata.lg.jp

件名に「作物技術情報メルマガ登録希望」、本文に「名前」「住所」「電話番号」をご記入ください。

